

<B型・C型肝炎用> 診療情報提供書

新来予約受付専用電話 011-706-7733
(受付時間 月～金 9:00～16:00)

紹介元医療機関の所在地および名称

記入日	年	月	日
医療機関名			
住所			
電話番号			
医師氏名			印

北海道大学消化器内科 肝臓グループ紹介医師名 (希望する曜日の□欄に✓をいれてください)

中井正人 先生 <input type="checkbox"/> 月曜日	荘拓也 先生 <input type="checkbox"/> 火曜日	須田剛生 先生 <input type="checkbox"/> 火曜日	坂本直哉 先生 <input type="checkbox"/> 水曜日 午前	小川浩司 先生 <input type="checkbox"/> 水曜日 <input type="checkbox"/> 金曜日	森川賢一 先生 <input type="checkbox"/> 金曜日
---	--	---	--	---	---

フリガナ 患者氏名		性別	男 ・ 女	職業	
生年月日	西暦 ・ 大正 ・ 昭和 ・ 平成		年	月	日 (歳)
住所			電話番号		

病名	<input type="checkbox"/> HBs抗原陽性キャリア <input type="checkbox"/> B型肝炎 <input type="checkbox"/> HCV抗体陽性 <input type="checkbox"/> C型肝炎 <input type="checkbox"/> 不明
現在の処方	<input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 肝庇護薬 (<input type="checkbox"/> 強力ネオミノファーゲンシー、 <input type="checkbox"/> ウルソ) <input type="checkbox"/> その他 ()
既往歴・家族歴・合併症など	

検査結果 (検査済み項目の□欄に✓をいれてください)	(検査日 年 月 日)
「B型肝炎について」 <input type="checkbox"/> HBs抗原 陽性・陰性 <input type="checkbox"/> HBe抗原 陽性・陰性 <input type="checkbox"/> HBe抗体 陽性・陰性 <input type="checkbox"/> HBV-DNA ()log copies/ml ・ 陰性	「C型肝炎について」 <input type="checkbox"/> HCV抗体 陽性・陰性 <input type="checkbox"/> HCV-RNA ()log IU/ml ・ 陰性 <input type="checkbox"/> HCVコア抗原 陽性・陰性 その他 検査検査結果・画像検査等があれば別途添付する。

紹介目的と今後の診療連携に関する希望 (希望する項目の □欄 に✓をいれてください)
<input type="checkbox"/> 専門医療機関での判断に任せる <input type="checkbox"/> 全て専門医療機関でお願いしたい (自院への通院は不要) <input type="checkbox"/> 専門医療機関で 精密検査+初期治療+継続治療 (診療連携は希望する) <input type="checkbox"/> 専門医療機関で 精密検査+初期治療+定期通院 (継続治療は自院で行う) <input type="checkbox"/> 専門医療機関で 精密検査+初期治療導入まで (継続治療は自院で行う) <input type="checkbox"/> 専門医療機関で 精密検査+治療方針決定まで (治療はすべて自院で行う)

連携手段の希望
<input type="checkbox"/> 診療情報提供書 <input type="checkbox"/> 電話・FAX () - <input type="checkbox"/> E-mail (@) <input type="checkbox"/> その他 ()

備考

消化器内科 肝臓グループ 外来担当医



助教 小川 浩司
水・金曜日



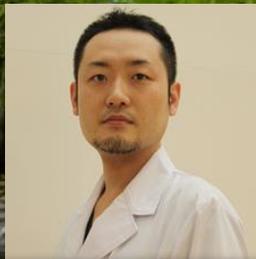
教授 坂本 直哉
水曜日



特任助教 中井 正人
月曜日



助教 森川 賢一
金曜日



助教 荘 拓也
火曜日



特任助教 須田 剛生
火曜日

B型肝炎、C型肝炎ともにウイルス性肝炎の治療はここ数年で大きく進歩しました。
当科ではウイルス性肝炎患者さんが肝硬変、肝癌へと進展するのを少しでも抑えるように、様々な診療、研究を行っています。

B型肝炎

B型肝炎に対しては核酸アナログ製剤が使用可能になってから長らく状況は落ち着いていましたが、2014年にさらに新しい核酸アナログ製剤も使用可能となりました。今後はほとんどの患者さんでウイルス制御が可能となる見込みです。北海道ではB型肝炎ウイルスのキャリア率が高く、残念ながらB型肝炎ウイルスに起因する高度進行肝細胞癌の患者さんが多いのが現状です。様々なB型肝炎に対する抗ウイルス療法を通して、B型肝炎患者さんの予後を改善するべく活動しています。

C型肝炎

C型肝炎に対しては2011年以降、直接型抗ウイルス製剤が投与可能となり、目覚ましい進歩を遂げました。現在では最も難治であった患者さんでも80-90%近い治療効果を得られるようになりました。さらに2014年9月にはインターフェロンフリーの経口剤治療が投与可能となりました。これにより治療効果の向上のみならず、高齢者や肝硬変患者さんなど、今までインターフェロン治療が難しかった患者さんや、インターフェロンではなかなか治療効果の得られなかった患者さんでもウイルス排除を目指せる時代となりました。

外来担当医師	月	火	水	木	金
午前	中井	荘 須田	坂本 小川	なし	小川 森川
午後	中井	荘 須田	小川	なし	小川 森川